

ティーンズコーナー

新着図書

毎号新刊2冊をピックアップしてご紹介します！図書館HP「新しくいった本」にて「ティーンズ」の条件で検索するとご覧いただけます。

新しくいった
ティーンズ図書すべての
チェックはここから♪



西岡 壱誠／著
萩原俊和／著
東京書籍
2024.4 (376.4/二)

高校生活の強化書

友だち、SNS、勉強、学校、部活、メンタル…生活リズムは似ているようで、時間の使い方や悩みは人それぞれです。高校生の「1時間」には4万の価値がある、と著者は言います。「時間」を自分の未来のためにどう活用すべきかを生活とメンタルの両面からアドバイスをくれる、高校生活のバイブル本です。



アルフォンス・ドーデ／作
平岡敦／訳
ヨシタケシンスケ／絵
理論社
2024.3 (953/ド7)

最後の授業

おもしろい話、悲しい話、ロマンチックな話など、ドーデのいろいろな作品が楽しめる短編集です。『最後の授業』では、ある少年が学校に遅刻しそうな場面から始まります。でも今日は、フランス語を教える厳しいアメル先生の授業があります。さぼりたい気持ちを抑えつつ教室に入ると、なにやらいつもと様子が違います。先生は優しく、町の人たちまでいます。はて、今日はいったい何があるのでしょうか。

次号
(2024年秋号)
9月1日
発行予定です



「ティーンズ・ライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです。(一)

あとは、手に取るだけで読書投資が始まります。
さあ、始めてみましょう！

図書館には各階、それぞれのジャンルで特集コーナーがあり、オスメの本を設置しています。そこにある本は、一冊一冊が素晴らしい名著ばかりです。普段は棚に入っている本や、新しく到着した本が、特集に沿ってオスメされています。

『読書』で、未来の自分へ投資してみませんか？
まだ知らないことを読書を通して知ること、将来の自分に役立つ知識や経験を貯める。それが読書投資です。

本好きさんになろう！

連載コラム

TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2024年夏号(No.38)

未来の自分に「読書」で投資。

世界中、日本中の

いろんなジャンルの スゴい人！

こまき電子図書館
ティーンズ
絶賛配信中！



太陽と乙女

森見登美彦／著 新潮社
2017.11 (914.6/㊦㊮)

『有頂天家族』や『夜は短し歩けよ乙女』など数々の個性的な作品を世に放っている作家、森見登美彦。本書は森見登美彦氏が方々で書いた感想や解説、日記などを集めたエッセイ集です。作者お気に入りの作品、大学時代の記憶、知人や家族との思い出など数々のエピソードが楽しめます。物語を生み出す人間がどのような感性を持っているのか、作家の頭の中が覗ける1冊です。

孤独のレッスン

齋藤孝／著 集英社インターナショナル
2023.4 (141.6/㊦㊮)

様々な分野の著名人、総勢17人による「孤独論」です。共通するのは「孤独」にポジティブな価値を見出している点。作家で探検家の角幡唯介さんはなぜ日本人探検家には「単独行」が多いのか、これまでの経験を元に語ります。遠く隔絶された場所で、己の判断一つが生死を分けるような極限の状態に置かれたからこそ紡ぎ出される言葉には説得力があります。

レンタルなんもしない人のなんもしなかった話

レンタルなんもしない人／著 晶文社
2019.4 (916/㊦㊮)

「レンタルなんもしない人」の活動記録をまとめたタイトル通りの本です。「一緒にご飯を食べてほしい」から「作業の見張りになってほしい」など、誰か1人いてくれたらな…といった状況に自身をレンタルするというサービス。その独特な活動が引き寄せた多種多様な依頼内容が楽しめます。著者が社会経験をした上で自分の向き不向きを考えた結果、なんもしない人が誕生しました。紹介される数多くの依頼を通して、型にはまらず人生を楽しむ人の姿が見えてきます。

世界を変えた146人の子ども

ルーラ・ブリッジポート／著
北川玲／訳 創元社 2022.4 (280)

ミュージシャン、アスリート、環境活動家、テクノロジーの天才、アーティスト、作家、政治活動家……。世界に影響を与えたヤングヒーロー146人のエピソードに、いろんな人生を垣間見ることができます。

この本で、もっと深く知りたい！と思う人物に出会えたら、関連する本をぜひ図書館で探してみてください。

文字の読めないパイロット

識字障害の僕がドローンと出会って飛び立つまで

高梨智樹／著 イースト・プレス
2020.8 (289.1/外)

「識字障害」は、近年認識が深まってきた、文字の読み書きに困難が出る学習障害です。

障害だとわからなかった子供時代、識字障害と診断された中学時代、ドローンレースに優勝し、プロのドローンパイロットとして活躍する現在までの著者の考え方、生き方が、ご両親の真摯な言葉とともにこの1冊に刻まれています。

未来の自分に「読書」で投資。
いろんなジャンルのスコイム！

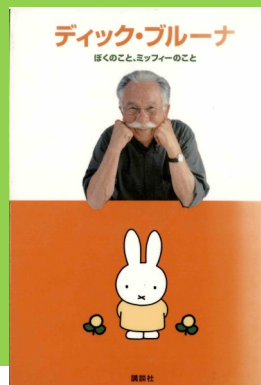
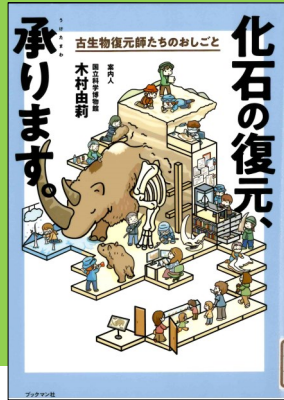
～紹介作品(50音順)～

- 化石の復元、承ります。
- 高校生活の強化書
- 孤独のレッスン
- 最後の授業
- さばの缶づめ、宇宙へいく
- 世界を変えた146人の子ども
- 太陽と乙女
- ディック・ブルーナ
- ど田舎生まれ、ポケモンGOをつくる
- 文字の読めないパイロット
- レンタルなんもしない人のなんもしなかった話

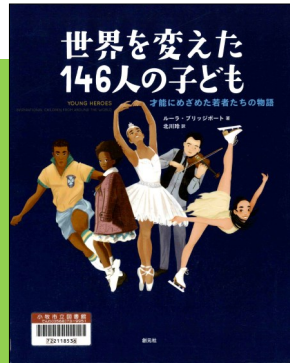
↓予約はこちらから



2024
夏



Illustrations Dick Bruna (c) copyright
Mercis bv,1953-2024www.miffy.com



自分たちが開発したさば缶を、宇宙飛行士が宇宙で食べてくれる。そんなスゴい夢を実現させた高校生たちがいます。

若狭高等学校(スタート時小浜水産高校)の「宇宙食さば缶チーム」は、なんと14年にわたって先輩から後輩に引き継がれてきた少人数の活動でした。廃校の危機の中、一人一人の小さな力が長い年月をかけて大きな夢をつかみ取ったのです。こんな夢の叶え方ができるのだと誰かに伝えたいくなります。

さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち

小坂康之／著、林公代／著 イースト・プレス
2022.1 (667.9/㊮)

古生物復元師。はじめて聞く方も多いのではないのでしょうか。この本を読むとまず古生物学者、博物館研究者、化石ハンターなどといったどうしたらなれるのか？何をする仕事なのか？という化石に関わる職種が多いことに驚きます。化石哺乳類特別展の企画担当者から見る職人・古生物復元師を中心に、国立科学博物館で働く人の仕事を知ることができる1冊です。

化石の復元、承ります。

古生物復元師たちのおしごと
木村由莉／監修 ブックマン社 2022.7 (457.8/㊮)

世界中で愛されるミッフィー。生みの親であるディック・ブルーナさんの夢は、もちろんアーティスト。

夢を叶えてすごい？でも、彼には、夢を否定され違う職業に就いた過去があります。その中でも、彼は夢を叶える為に必要なことを模索し続けました。

皆さんは、なぜミッフィーがいつも正面を向いているかを知っていますか？

ディック・ブルーナ ぼくのこと、ミッフィーのこと

ディック・ブルーナ／著 講談社／編
講談社/出版 2005.4 (726.601)

ど田舎生まれのポケモン好きな少年は、どのようにしてゲームクリエイターになったのでしょうか？「大好きなことを仕事にしたい、でも何から始めればいいのか？」と考えるあなたに、ぜひ読んでほしい一冊です。ポケモンGOの開発者のひとり野村達雄さんが、自分の半生と、ポケモンGO開発中の様々なクリエイター達との出会いを語ります。

ど田舎生まれ、ポケモンGOをつくる

野村達雄／著 小学館集英社プロダクション
2017.7 (589.77/ノ)